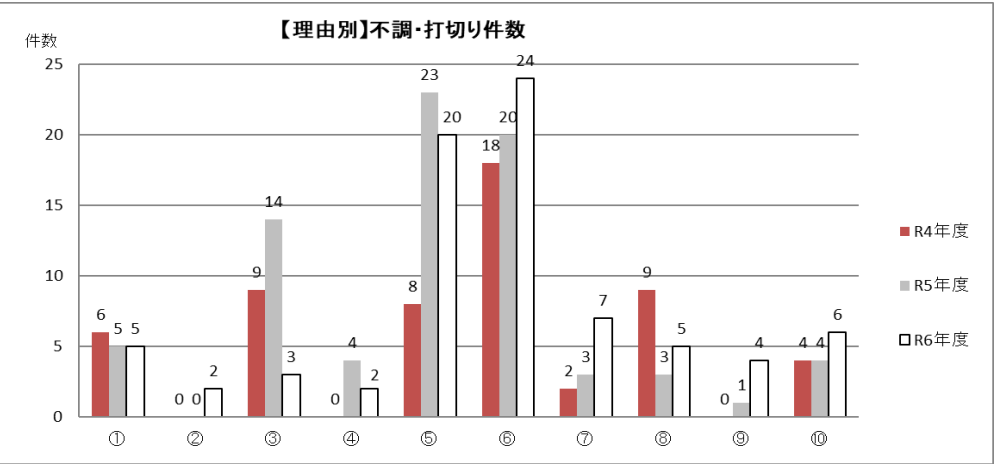
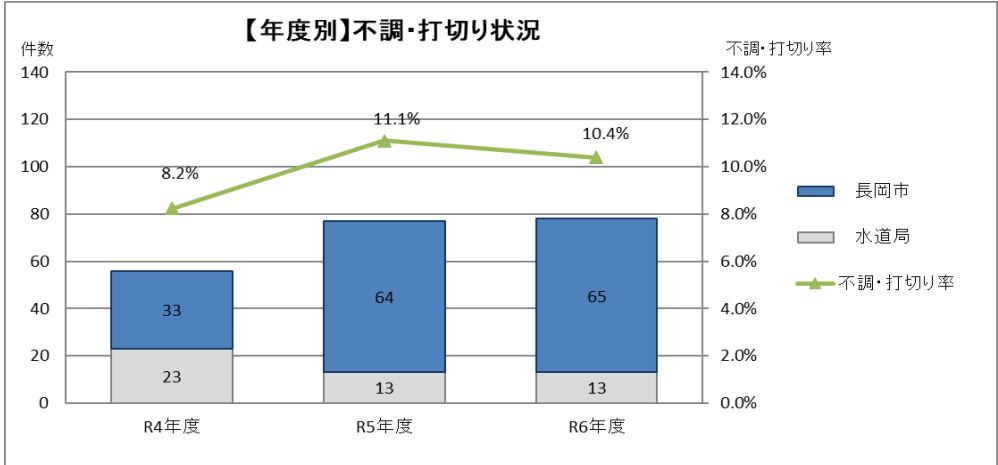


入札における不調・打切り状況

(単位:件)

区 分		理由	4年度	5年度	6年度
不 調	①	下限価格以上の価格で入札をした者がいなかったため	6	5	5
	②	再入札での最低入札価格が予定価格を上回り、かつその差額が予定価格の10%に相当する額以内のため、最低入札価格で応札した業者と随意契約協議を行ったが協議不調のため	0	0	2
	③	再入札において、最低の入札価格が予定価格を上回り、かつ、その差額が予定価格の10%に相当する額を超えたため	9	14	3
	④	見積もり合わせの結果、予定価格に達しなかったため	0	4	2
打 切 り 取 止 め	⑤	入札に参加する者がいなかったため	8	23	20
	⑥	指名競争入札において、入札者が1人となったため	18	20	24
	⑦	再入札に参加する者がいなかったため	2	3	7
	⑧	指名競争入札において、再入札者が1人となったため	9	3	5
	⑨	指名競争入札において、再入札に参加できるものが1人となったため	0	1	4
	⑩	事務処理誤りのため(入札前の設計・仕様書誤りを含む)	4	4	6
合 計 (a)			56	77	78
長 岡 市			33	64	65
水 道 局			23	13	13
契約件数(随意契約を含む) (b)			624	616	673
不調・打切り率 (a/(a+b))			8.2%	11.1%	10.4%



<不調・打切り状況の傾向分析>

不調・打切り件数は令和5年度から増加し、6年度は引き続き横ばいです。ただし全体の契約件数が増えているため、不調・打切り率は減少しています。
令和5年度に比べ、6年度では不調(①～④の理由)の件数は大きく減少しているのに対し、打切り取止め(⑤～⑨の理由)の件数は依然多い傾向にあります。これは急激な価格高騰等による入札不調の発生は落ち着いてきたものの、技術者不足等を理由とした入札不参加・辞退による入札打切りの発生は変わらず続いていることによるものと考えられます。